

平成27年度 近江ちいろば会の事業報告

1：大きな取り組み

○創立20周年を記念して、2015年9月3日にクサツエストピアホテルにて湖南市長、地域の役員の方々、法人役員、職員一同と共に盛大にお祝いいたしました。お世話になった方々に感謝するとともに、職員一同がこれからの10年、ビジョンを明確にして地域に貢献していくことを確認する機会になりました。

○2015年10月1日に湖南市菩提寺東地区に元料理店を改築して、それまではケアハウスに併設していた認知症デイサービス ぼだいじデイサービスセンターいこい、ぼだいじヘルパーステーションをこの地に移し開設いたしました。又、地域の人々の為に「地域の我が家（コミュニティースペース）」を併設し、地域の方々に気軽に訪れていただける開かれた施設となることを期待しています。

○地域講演会の開催 多くの方々をお迎えして、認知症になっても地域で過ごすために、私たちがこれから取り組むことがらについて学ぶことができました。

2016年11月7日、会場：甲西文化ホール

講師：永田久美子氏（認知症介護研究研修東京センター部長）

テーマ：認知症と共によりよく暮らす

参加者：160名

○グループホームぼだいじにて共用型デイサービス開設の承認を受けました。これから、待機者の方を中心に入居前の取り組みを進めてまいります。

○「デイケアの家おしどり、ゆめとまの家おしどり」の二つのデイサービスの事業譲渡契約を結びました。二つのデイサービスを含めると8つのデイサービスになりました。それぞれの特徴を生かして、多様なニーズに対応してまいります。

2：施設整備・大規模修繕

○菩提寺東地区の由緒ある料理店が空家になっていましたので、購入し改修。新たに認知症デイサービス、ヘルパーステーション拠点に生まれ変わられました。

○「グループホームぼだいじ」のリビングを共用型デイサービスに行えるように畳部分をフローリングにして広く使えるようにいたしました。

3：定期採用

大学卒を定期採用で2名採用いたしました。

毎年、定期採用者を採用できていることで、若さのある元気な職場造りに寄与できています。

4：研修・育成

○業務改善活動 1年をかけ8回の学びを通して事業所の業務改善に取り組みました。

当年度は自立支援やケアの資質向上に取り組んだところが多く、2月に発表会を行いました。その中で、**QC大賞**は、**デイサービスいこい**

DASC、DBDの評価 自分史の作成を通じた認知症個別ケアプログラムの開発
ハイパフォーマンス賞は、**デイサービスしんあい** 認知症の評価と個別プログラムの作成
グッドクオリティー賞は、**デイサービスみなくち** 利用者の自立支援と業務効率化
グループホームみなくち 自助・自立支援の取り組み
小規模多機能 一人一人に対して根拠のある個別ケアプログラムの提供
どれも、学会で発表できる高いレベルのものでした。

○ 所長・主任研修 10月9日にキリスト教社会事業者同盟の研修会

会場 近江八幡市の ホテルニューオウミ

テーマ：ヴォーリスの足跡とその足跡 藪秀実 氏、ヴォーリス記念館館長

テーマ：心のつながりで一人一人を大切に 河 正子氏 NPO法人緩和ケアサポート代表
を学びました。

法人全体研修会

生きがいのある施設研修3回、山下総司氏 介護環境アドバイザー

利用者が自立的に動ける環境づくりについて学びました

接遇マナー 各事業所の取り組みに学びました

感染症研修 インフルエンザとノロウイルスについて予防方法と罹患後の対応について学びました。

人権研修 「市民後見センターきょうと」の内藤健三郎氏に成年後見について講義いただきました。

○ 公開の場としてのQC発表会

業務改善の取り組みを2月16日に湖南省役所の川崎課長補佐、平野評議員をお迎えして発表会を実施いたしました。業務改善の取り組みは8回を迎え事業所に定着してまいりました。サービス向上、効率化、新しいサービスの創出につながることを期待しています。

○地域との交流

認知症発見保護訓練 11月 菩提寺地区の方々と、認知症の方が徘徊されている時にどのように対応するのか実地で学びました。

公民館祭り 11月 小規模多機能：手芸品販売、お寿司販売で参加しました

イワタニランド夏祭り 8月 グループホーム、小規模多機能居宅介護、訪問看護事業所が
わらび餅販売で参加

○人材育成

デイサービス虹、いこい でリバイバルプランを行い事業の進め方を学び合いました。

毎週 テーマを決めて実施しました。

6：地域貢献

○「つどいcafé」の実施 週一回開催

毎週民家をお借りして、比較のお元気な高齢者が気楽に集まれるところをつくりました。
認知症予防、閉じこもり防止に一役買っています。

10月からは、菩提寺東の認知症デイサービスに併設している「地域の我が家」で実施

各事業所からの報告

1：法人事務局

社会福祉法人に求められる会計処理の正確・透明性を確保し、財務体質を強くするアドバイザーとして、紫明税理士法人と顧問契約を結び、職員のレベル向上と経営管理に生かすように取り組んでいます。

12月からヨガ教室（月2回）1月から職員体調維持の為に、健康体操教室（月一回）、を開催しています。

心身ともに元気で過ごせるように支援しています。

2：ケアハウス ピスガこうせい

ケアハウスの喫茶に地域の方々をお迎えし、開かれた施設づくりを目指しました。

また、地域の方々に隔週で「歌ごえ」みんなで楽しく歌おう会を開催していただき、地域との交流に繋がっています。1月から、

年間 ほぼ満室でした。

3：ヘルパーステーション

業務改善活動で、私的サービス（名称：おもいやりサービス）の広報活動に取り組みました。

4：デイサービスいこい

地域の菩提寺東に新たな施設を創り、10月1日に開設することが出来ました。

利用者主体の活動的な認知症デイサービスを目指して取り組んでいます。

5：デイサービス虹

サービス力向上の為、アドバイザーの山下総司先生と契約し、「おもてなし介護」から「自立支援型介護」への移行を進める年となりました。毎月現場でご指導をいただきました。

滋賀県の要介護度改善推進モデル事業で「環境改善と体操メニューの多様化により要介護度改善」に取り組み要介護度が改善しました。

6：グループホーム ぼだいじ

要介護度改善推進モデル事業で「多職種連携による専門的ケアの実施による要介護度を改善する」で取り組みました。内容は、口腔ケアと運動機能向上の取り組みです。

看取りを一年で6名行いました。

7：訪問看護ステーション

4名の看護師が訪問看護師として定着し、安定した仕事ができたとのことです。

他の職種やサービスと連携を深め次年度への飛躍を誓っています。

8：中央デイサービスセンターしんあい（認知症デイ）

定員を11名から12名に増員し、稼働率向上に働きかけました。

中央区の他の事業所と連携し、地域の結びつきが強化できました。

たこ焼きの会など若年性認知症の取り組みに注目が集まっています。

9：ぼだいじ 居宅介護支援センター

1月と3月に新しいメンバーが加わり、戦力が強化されました。特定事業所加算Ⅱを取得し、経営的にも安定してきました。当年度の業務改善活動として、災害時の緊急対応マニュアルの作成に取り組みました。法人の事業所のサービス力強化にも影響力を与える事業所になるように期待しています。

10：高齢者支援センター

相談業務：地域や民生委員との関係も形成されつつあり、サロンで訪問を受けたり、同行訪問を行ったりとできる関係性ができてきました。

生きがいデイ：閉じこもりがちな高齢者の「居場所」としての機能を果たしています。

岩根地域の利用者が増加してきました。

11：小規模多機能居宅介護 ぼだいじ みんなの家

独居高齢者の訪問力強化に取り組みました。通所、訪問のバランスを保ち在宅生活が続けられるように支援しています。また、緊急ショートの一環で、地域の方に貢献する幅が広がりました。

赤字経営から脱却できた年でした。

12：グループホーム みなくち みんなの家

入居者の方 お一人お一人に、得意なことを毎日一つはしていただきました。

滋賀県老人福祉施設協議会研究大会で「入居者の個人に合った口腔ケアの適正化」で参加しました。

自治会行事に参加できました。(清掃、防災訓練、町内会議)

京都への一泊旅行が実施できました。

隣地の畑を耕し、入居者の生きがい活動に繋がりました。

13：デイサービス みなくち みんなの家

多数のボランティアの皆様に、支援していただきました。

稼働率向上で、経営改善がすすんでいます。

14：ケアプランセンター みなくち みんなの家

みなくち みんなの家全体で朝礼のスピーチをはじめ 定着しました。